

## 経営情報学会旧ウェブサイトのアンケート結果

### 会員コミュニケーション促進プロジェクト

#### 1. はじめに

2021年新理事体制を機に、会員とのコミュニケーションを促進することを目的として、会員コミュニケーション促進プロジェクトが開始した。その主なミッションは、新たなウェブサイトを作成するとともに、その安定稼働の体制を整え、本学会の内外のステークホルダーとのコミュニケーションの起点を整備し、学会内外のコミュニケーション、ひいては学会全体の活性化を図ることであった。周知のとおり、2022年6月9日の臨時メールマガジンにて新ウェブサイト稼働のお知らせを会員の皆様にお届けすることができ、現在でも安定的に稼働している。

プロジェクトでは、このミッションを達成するために、まず経営情報学会ウェブサイトの改善と新たな必要機能実装の判断情報とするため、旧来稼働していたウェブサイトについての会員の皆様の認識の把握や、学会ロゴの意識調査などを中心に会員へアンケートを行った。本アンケートに回答して下さった会員の皆様には感謝、お礼申し上げたい。

本稿の目的は、そのアンケートの概要と結果を報告することである。2章で調査概要、3章でアンケート結果について述べる。

#### 2. 調査概要

##### 2.1 調査期間、回答者、調査方法

- (1) 期間：2021年12月16日～12月31日
- (2) 対象者：経営情報学会会員 918名  
(2021年12月16日時点)
- (3) 調査方法

会員へアンケートフォームのリンクを掲載したメールマガジンを配信

#### 2.2 質問内容

質問は、選択回答式と自由回答式の質問からなる。

##### (1) 選択回答式

5つの質問からなる。質問項目(回答方法/回答内容)は次のとおりである。

- ① 年齢(単一選択/20代・30代・40代・50代・60代以上)
- ② 学会の加入歴(単一選択/1年未満・1年～4年・5年～9年・10年～14年・15年以上)
- ③ 学会のロゴに愛着はありますか?(単一選択/ある・どちらかといえばある・ない)
- ④ 学会のロゴのデザインに求めるイメージは何でしょうか?(複数選択/新しい・勢いがある・明るい・かっこよさ・知的・わかりやすさ・親しみやすさ・JASMINであるとすぐにわかる・その他)
- ⑤ 新しいロゴに対するご意見をお願いします(単一選択/まったく異なるデザインのロゴで良い・今のロゴデザインを尊重した新たなデザイン・今のままで良い・その他)

##### (2) 自由回答式

自由回答式の質問は、次のとおりである。

「ホームページについてのご意見やご要望、その他お気づきのことなどありましたらお聞かせください。また学会のロゴの由来をご存じでしたら情報をお知らせください」

#### 3. アンケート結果

アンケート実施の結果、106名から回答を得た。

##### 3.1 年齢(図1参照)

本アンケートの回答者の年齢分布は、図1に示すように、50代(約3割)、60代以上(約3割)、40代(約2割)、30代(約1割)、20代(1割未満)

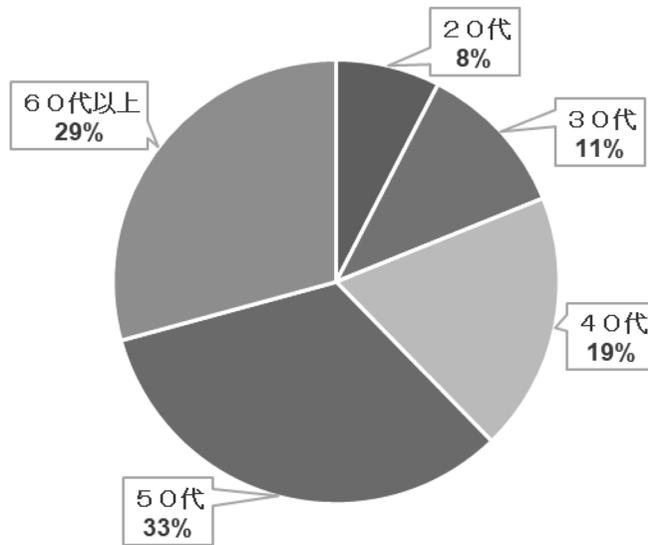


図1 アンケート回答者の年齢構成

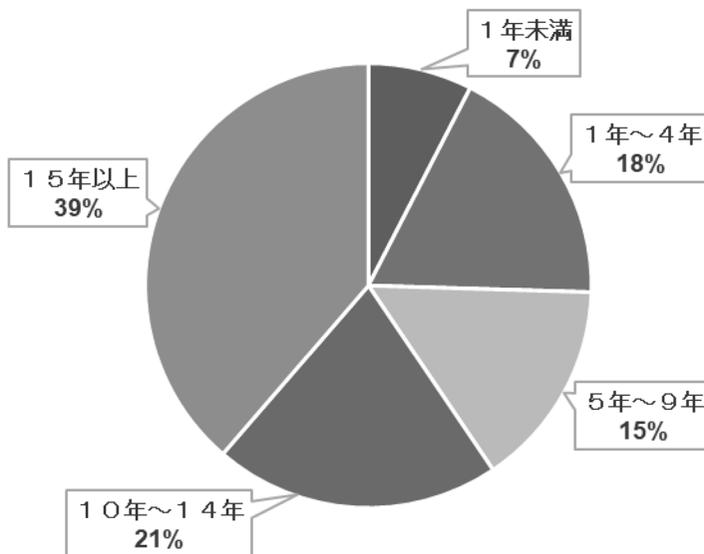


図2 アンケート回答者の本学会への加入歴

の順に多い結果となった。

### 3.2 加入歴 (図2参照)

加入歴は、図2に示すように、15年以上(約4割)、10～14年(約2割)、1～4年(2割弱)、5～9年(約1割)、1年未満(1割弱)、の順に多い結果となった。

### 3.3 年齢別加入歴 (表1参照)

年齢別加入歴については、表1に示すように、年齢が高くなるほど、加入歴も長い結果となった。20代は加入歴4年以下、30代は加入歴9年以下であった。40代は、加入歴が短い人(4年以下)と長い人(10年以上)に分かれる。加入歴1～4年については、各年代に一定程度いる。

表1 アンケート回答者の年齢別加入歴

年代	学会の加入歴					総計
	1年未満	1年～4年	5年～9年	10年～14年	15年以上	
20代	2.8%	4.7%	0.0%	0.0%	0.0%	7.5%
30代	0.9%	5.7%	4.7%	0.0%	0.0%	11.3%
40代	1.9%	2.8%	0.0%	7.5%	6.6%	18.9%
50代	1.9%	2.8%	6.6%	10.4%	11.3%	33.0%
60代以上	0.0%	1.9%	3.8%	2.8%	20.8%	29.2%
総計	7.5%	17.9%	15.1%	20.8%	38.7%	100.0%

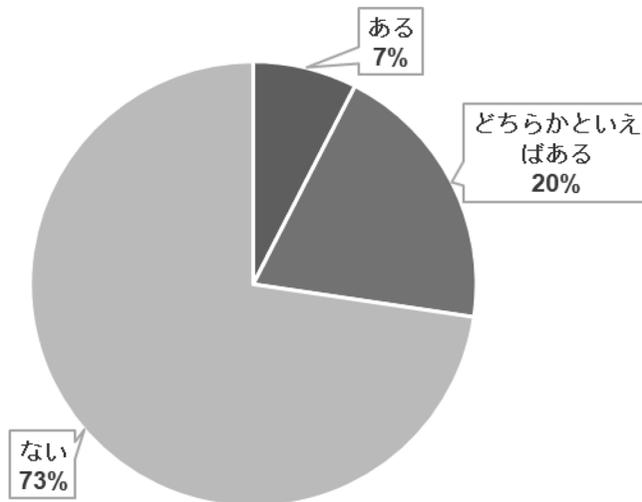


図3 アンケート回答者の学会ロゴへの愛着



図4 本学会が使用してきたロゴ

### 3.4 ロゴへの愛着 (図3参照)

本学会では旧来より図4にあるようなロゴをもっていた。このロゴへの愛着について調査を行った。ロゴへの愛着は、全体的にみると、図3に示すように、愛着ありは約3割、愛着なしが約7割。ロゴの愛着がない会員が多い結果となった。一方、年齢別

にみると、表2に示すように、60代以上に、愛着が多い結果となった。50代は、他の年齢層に比べて愛着ないが多い。

### 3.5 ロゴにもとめるイメージ (図5参照)

ロゴのイメージは、図5に示すように回答の多い

表2 アンケート回答者の学会ロゴへの愛着（年齢別）

年代	学会のロゴに愛着はありますか？			総計
	ある	どちらかといえばある	ない	
20代	0.0%	0.9%	6.6%	7.5%
30代	0.0%	0.9%	10.4%	11.3%
40代	0.9%	3.8%	14.2%	18.9%
50代	0.9%	6.6%	25.5%	33.0%
60代以上	5.7%	7.5%	16.0%	29.2%
総計	7.5%	19.8%	72.6%	100.0%

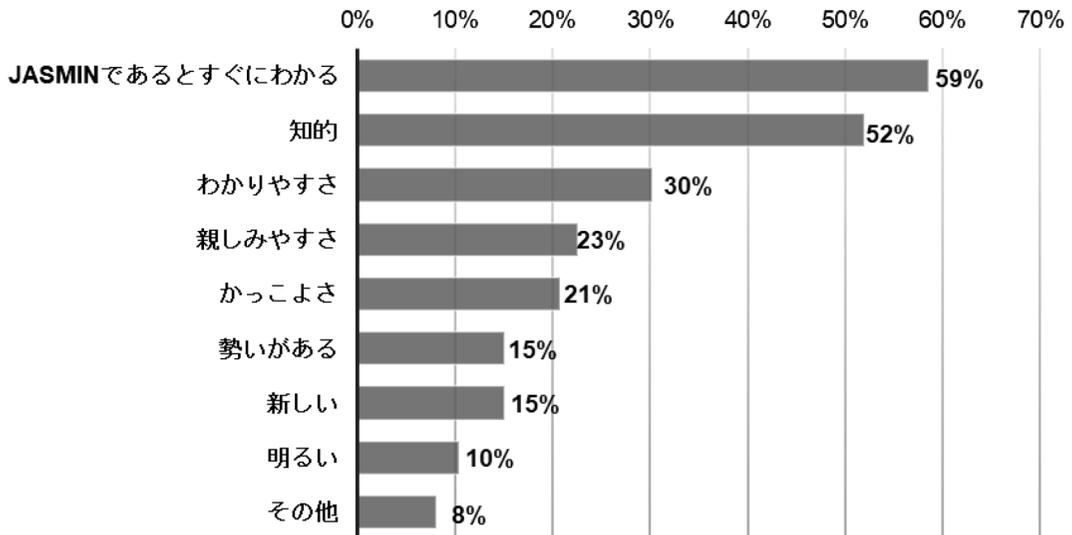


図5 アンケート回答者が学会ロゴに求めるイメージ

順に次のとおりであった。

- ・JASMIN であるとするぐにわかる（約6割）
- ・知的（約5割）
- ・わかりやすさ（約3割）
- ・親しみやすさ（約2割）
- ・カッコよさ（約2割）
- ・勢いがある（約1割）
- ・新しい（約1割）
- ・明るい（約1割）
- ・その他 ※1

※1：認知度、学会の意図がわかるようなシンボル、斬新さ、カラー、フラットデザインが最近の流行、特段求めている、よくわからない

### 3.6 ロゴの意見（図6参照）

ロゴの意見については、図6に示すように、次のとおりとなった。

- ・新しいデザイン（約6割）

- ・今のロゴデザインを尊重した新たなデザイン（約1割弱）
- ・今のまま（約2割）
- ・その他 ※2

※2：見える化を意味するロゴ、ロゴをあまり意識していない、なんともいえない、など

### 3.7 自由回答

自由回答は3通りの意見、要望が得られた。すなわち、①ウェブサイト（デザイン、コンテンツ、セキュリティなど）、②ロゴ（由来など）、③学会の活動や運営、である。①の意見が最も回答が多かった。得られた回答の一部は次のとおりである。

- ①ウェブサイト（デザイン、コンテンツ、セキュリティなど）
- ・デザインが古い
- ・時代にあったデザイン
- ・読みやすいサイト

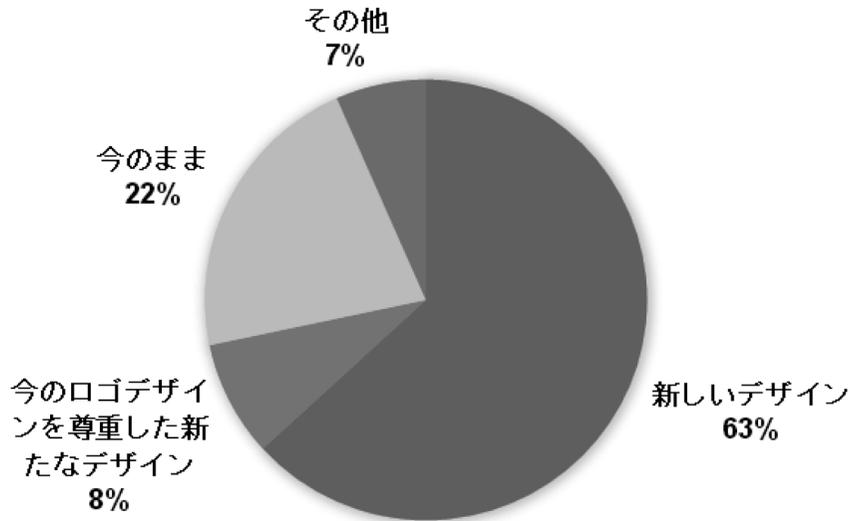


図6 アンケート回答者の学会ロゴへの意見



図7 本学会の新しいウェブサイト用のロゴ

- ・画面サイズに応じて表示を変えられるレスポンシブデザインにする
- ・学会イメージがわかるようなデザイン
- ・連絡先、論文、など情報を見つけやすくしてほしい
- ・会員ログインが必要なことは、非会員の方も見てすぐわかるようにしてほしい
- ・学会の活動がわかるようなコンテンツ
- ・学会員向け、一般向け、企業向けなど読者に応じたコンテンツ
- ・活動の最新情報がわかるようなコンテンツ
- ・支部会でページ掲載・編集できる機能
- ・研究会活動の掲載
- ②ロゴ（由来など）
  - ・現在の学会ロゴは、JASMIN 発足当初に会員に公募し応募作品から選ばれた
  - ・ロゴがあることを知らなかった
  - ・ロゴを刷新するならば経営と情報をキーワードはどうか
  - ・ロゴを刷新するならば会員と共有すべき意味や価値を発信したほうがよい
- ③学会の活動や運営
  - ・基礎分野を担う情報学については他学会と交流の場を多くし互いに刺激しあう関係になるとよい
  - ・ロゴ変更より、クレジットカード払いを可能にするなど、会員にメリットある改善してほしい
  - ・研究部会はより少ない人数から活動できるようにしてほしい

#### 4. おわりに

前述で得られたアンケートの結果を大いに参考にし、ウェブサイトの更新を行い、2022年6月より正式稼働した。あらためて年末多用の中アンケートに回答いただいた会員に謝意を表したい。

また、ウェブサイトのリニューアルに際し、新たなロゴとして図7に示したものが、新ウェブサイト

のロゴとして採用された。旧来使用されたロゴの二つの矢印を尊重しつつ、知的なイメージを持つ青を基調とし、本学会が右肩上がりでの活性化されていくことをイメージしたものである。旧来使用されてきたロゴと共に、学会員の皆様に多く利用していただき、本学会のコミュニケーション、ひいては学会活動の活性化に資することができれば幸いである。